HERO 11 BLACK MINI

GoProムーブメントに参加しよう

@GoPro

@GoPro

@GoPro

facebook.com/GoPro

@GoPro

pinterest.com/GoPro

目次

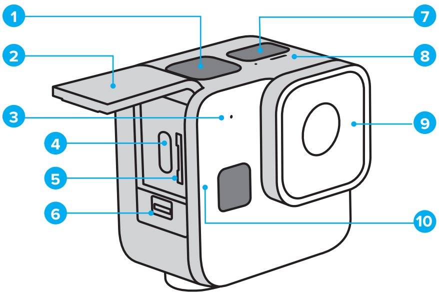
HERO11 Black Miniの外観	6
カメラのセットアップ	8
GoPro Quikアプリへの接続	12
カメラのソフトウェアの更新	15
ボタンの基本	17
カメラの電源をオフにする	18
撮影画面 + 初期設定	19
QuikCaptureで録画する	20
イージーコントロールの使用	21
イージーコントロールとプロコントロールの切り替え	23
プロコントロール撮影モード	25
プロコントロールの設定	28
ライブストリーミング	33
HiLightタグ	34
音声でGoProを操作	35
メディアの再生 + 転送	37
ビデオストーリーの作成	41
ビデオからの写真のキャプチャ	42
Quikアプリを使用したユーザー設定	43

目次

重要なメッセージ	46
カメラのリセット	49
GoProのマウント方法	50
ドアの取り外し	56
メンテナンス	58
バッテリーの情報	59
トラブルシューティング	62
カメラのボタンでナビゲートする	64
仕様	70
Protune	88
カスタマーサポート	97
登録商標	97
規制情報	97

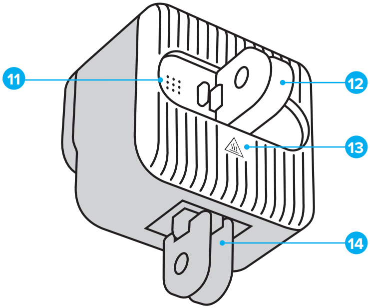
規制モデル番号CPPM1

HERO11 Black Miniの外観



1. シャッターボタン
2. ドア
3. マイク
4. USB-Cポート
5. microSDカードスロット
6. ドアラッチ
7. ステータススクリーン
8. ステータスライト
9. 取り外し可能なレンズカバー
10. ステータス / ペアリングボタン

HERO11 Black Miniの外観



11. スピーカー
12. 背面のフォールディングフィンガー
13. ヒートシンク
    (**警告：** オーバーヒートを防ぐため、カメラを使用しているときにカメラの背面が熱くなることがあります。)
14. 底面のフォールディングフィンガー

GoProに付属しているアクセサリーの使用方法は、「*GoProのマウント方法* (50ページ)」をご参照ください。

SDカード

ビデオを保存するには、microSDカード (別売) が必要です。次の要件を満たす有名ブランド製のカードを使用してください。

- microSD、microSDHC、またはmicroSDXC
- 規格クラスV30、UHS-3以上
- 最大容量512GB

推奨されるmicroSDカードのリストについては、**gopro.com/microsdcards**をご参照ください。

SDカードを取り扱う前に、手が清潔で乾いていることを確認してください。カードの許容温度範囲やその他の重要事項は、カード製造元のガイドラインを確認してください。

*注意:*SDカードは時間の経過とともに劣化し、カメラのメディア保存機能に影響を与える可能性があります。問題が発生した場合は、カードを新しいカードに交換してください。

SDカードの再フォーマット

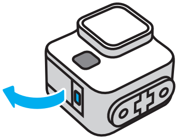
定期的にSDカードをフォーマットして、適切な状態に保ってください。フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。
2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラの設定に移動します (プロコントロールを使用しているときは2回押します)。
3. シャッターボタン を繰り返し押して、「SDカードをフォーマット」を表示します。
4. ステータス / ペアリングボタンを押して「SDをフォーマット」を選択します。
5. ステータス / ペアリングボタンを押して、 から に移動します (または、 がハイライトされているときにシャッターボタンを押して戻ります)。
6. (がハイライトされているときに) シャッターボタンを押して、SDカードのフォーマットを確認します。

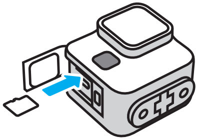
詳細については、「*ボタンを使用してカメラのユーザー設定を調整する* (68ページ)」をご参照ください。

SDカードとバッテリーのセットアップ

1. ドアラッチのロックを解除し、ドアを開きます。



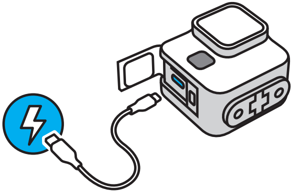
カメラをオフにして、SDカードのラベルをカメラの背面に向けた状態でカードスロットに挿入します。



SDカードを取り出すには、カードを指の爪でスロット内に押し込みます。

注：SDカードは必ずカメラの電源をオフにしてから取り出してください。カメラの電源がオンのときにSDカードを取り出すと、カメラに回復不能な損傷を与える恐れがあります。

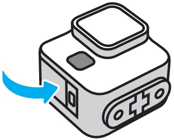
2. 付属のUSB-CケーブルでカメラをUSB充電器またはコンピューターに接続します。バッテリーがフル充電されるには約2時間かかります。充電が完了すると、カメラステータスライトがオフになります。



詳細については、「*バッテリーの情報* (59ページ)」をご参照ください。

*注意：*バッテリーはカメラから取り出さないでください。

3. 充電が完了したら、ケーブルのプラグを抜き、ドアを閉じます。カメラを使用する前に、ドアラッチが閉じられ、ロックされていることを確認してください。



注：このカメラのドアは着脱式です。ドアを閉じた後、ドアがしっかりとロックされ、密閉されていることを確認してください。

GoPro Quikアプリへの接続

GoPro Quik (クイック) アプリを使用すると、カメラのモード、設定、ユーザー設定を簡単に調整できます。このアプリを使用すれば、ショットをプレビューしたり、最適なフレーミングを行ったり、カメラのSDカードに保存されているすべてのコンテンツを表示したり、コンテンツをエフェクトや音楽と同期させたビデオストーリーに自動変換したりすることができます。

初めてのアプリのペアリングとカメラのセットアップ

1. Apple App StoreまたはGoogle PlayからGoPro Quikアプリをダウンロードします。
2. ステータス / ペアリングボタン を押してカメラをオンにします。HERO11 Black Mini画面の後に、言語を選択します。

3. 使用する言語が表示されるまでシャッターボタンステータス / ペアリングボタンを繰り返し押します。

4. シャッターボタン を押して言語を選択します。

5. (✓ がハイライトされているときに) シャッターボタンを押して確認します。ステータス / ペアリングボタンを押して ← に移動し、シャッターボタンを押して戻ります。

GoPro Quikアプリへの接続

6. (✓ がハイライトされているときに) シャッターボタンを押して利用規約に同意します。ステータス / ペアリングボタンを押して ← に移動し、シャッターボタンを押して戻ります。

7. スマートフォンでGoPro Quikアプリを起動し、Quikアプリの画面の指示に従ってカメラを接続し、セットアップを完了します。

iOSに関する注意: プロンプトが表示されたら、GoPro Quikアプリからの通知を許可して、ビデオが使用できるようになっていることを確認します。詳細については、「*ビデオストーリーの作成* (41ページ)」をご参照ください。

GoPro Quikアプリへの接続

初回ペアリング後 + 他のデバイスのペアリング

カメラは一度ペアリングすると、自動的に GoPro Quikアプリ に接続されます。アプリに再ペアリングする必要がある場合、または他のデバイスにペアリングする場合の手順は以下のとおりです。

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。
2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラの設定に移動します (プロコントロールを使用しているときは2回押します)。
3. シャッターボタン を繰り返し押して、「ペアリング」を表示します。
4. ステータス / ペアリングボタンを押してペアリングを開始します。
   *注意：*ペアリング開始後にいずれかのボタンを押すと、ペアリングはキャンセルされます。

詳細については、「*ボタンを使用してカメラのユーザー設定を調整する*(68ページ)」をご参照ください。

カメラのソフトウェアの更新

GoProで最新の機能を使用しながら最高のパフォーマンスを楽しむには、最新のソフトウェアを使用していることを確認してください。

GOPRO QUIKアプリを使用した更新

アプリは、カメラに接続するたびに、新しいカメラソフトウェアがないかチェックします。新しいカメラソフトウェアが利用可能な場合は、アプリにインストール方法が表示されます。

手動による更新

1. **gopro.com/update**にアクセスします。
2. *HERO11 Black Mini*をカメラのリストから選択します。
3. *「手動でカメラを更新」*を選択し、指示に従います。

カメラのソフトウェアの更新

カメラのソフトウェアバージョン

使用しているソフトウェアのバージョンを知りたい場合は、以下の手順で確認できます。

GoPro Quikアプリの使用

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、アプリ画面の ⚙ / 🔧 をタップします。
2. 「カメラ情報」まで下にスクロールします。

カメラのボタンの使用

1. ステータス / ペアリングボタン をを押して、カメラの電源をオンにします。
2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラの設定に移動します (プロコントロールを使用しているときは2回押します)。
3. シャッターボタン を繰り返し押して、「バージョン情報」を表示します。
4. ステータス / ペアリングボタンを押して、カメラのソフトウェアバージョンを確認します。
   *注意：*カメラのシリアル番号の表示を3回スクロールするとソフトウェアバージョンが表示されます。
5. シャッターボタンを押して撮影画面を終了します。

詳細については、「*ボタンを使用してカメラのユーザー設定を調整する* (68 ページ)」 をご参照ください。

ボタンの基本

カメラのボタンは、カメラの電源がオンのときとオフのときで機能が異なります。

カメラがオフの場合

- ステータス / ペアリングボタン を押すと、カメラの電源がオンになります。
- シャッターボタン を押すと、カメラの電源がオンになり、直ちに撮影が開始されます。もう一度押すと、撮影が停止し、カメラの電源がオフになります。

詳細については、「*QuikCaptureで録画する* (20ページ)」をご参照ください。

カメラがオンの場合

- ステータス / ペアリングボタン を押すと、「設定」、「ビデオモード、「ビデオ設定」に切り替わります。
- シャッターボタン を押すと、撮影を開始 / 停止し、「ユーザー設定」、「ビデオモード」、「ビデオ設定」を確認します。
- ステータス / ペアリングボタン を3秒間長押しすると、カメラの電源がオフになります。

カメラの電源をオフにする

カメラの電源を手動でオフにする
ステータス / ペアリングボタン を3秒間長押しして、カメラの電源をいつでもオフにできます。

注意：撮影中にカメラの電源をオフにした場合、カメラはシャットダウン前にコンテンツを保存します。

自動オフ
バッテリー時間を最長に延ばすために、HERO11 Black Miniは、指定した時間内に操作が行われない場合に自動的にオフになります。シャットダウンされるまでの無操作時間の長さは、カメラが行なっている作業内容によって異なります。

8秒間の自動オフ
カメラの電源がオンになっていて録画する準備ができている場合、8秒間操作が行われないと自動的にオフになります。

15秒間の自動オフ
モード、設定、ユーザー設定の変更中の場合、15秒間操作が行われないとカメラは自動的にオフになります。

撮影画面 + 初期設定

撮影画面
この画面は、カメラの撮影準備ができたときに表示されます。録画を開始するには、シャッターボタン を押すだけです。

1. 残りの録画時間
2. バッテリーステータス
3. 撮影設定

この画面には、撮影しているときの録画時間とカメラのステータスに関する重要なメッセージも表示されます。

詳細については、「*重要なメッセージ* (46ページ)」をご参照ください。

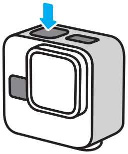
初期設定
HERO11 Black Mini は、プロコントロールを使用してビデオモードで録画するように初期設定されており、広角デジタルレンズを使用して、ワイドスクリーン 4K ビデオを 60 フレーム / 秒で撮影します。様々な撮影に適した、汎用性抜群の撮影設定です。

QuikCaptureで録画する

HERO11 Black Miniのワンタッチ録画機能であるQuikCaptureを使えば、素早く簡単にGoProの電源をオンにして録画を開始できます。録画するときだけカメラがオンになり終了したらオフになるので、バッテリーの駆動時間が最大限にまで延びます。

QUIKCAPTUREの使用

1. カメラの電源がオフの状態で、シャッターボタン を押します。QuikCaptureは最後に使用したビデオモードが使用されます。



2. シャッターボタンをもう一度押すと、録画が停止し、カメラの電源が自動的にオフになります。

*注意：*最初にステータス / ペアリングボタン を押してカメラをオンにしてから、シャッターボタンを押して録画を開始することもできます。

警告：GoPro本体およびマウントやアクセサリーは、充分にご注意の上ご利用ください。使用者および周囲の人々に危険が生じないよう、使用時には常に周囲に気を配ってください。

現地の各種プライバシー法など、特定地域での録画を制限しうるすべての法律に従ってください。

イージーコントロールの使用

HERO11 Black Miniを使えば、あなたの冒険をこれまで以上に簡単に撮影できます。イージーコントロールには、様々な撮影に適した撮影設定があらかじめ搭載されています。カメラを向けて撮影するだけ。

ビデオモード

イージーコントロールには、シャッターボタン を押すだけで素晴らしい映像が得られる3つのビデオモードオプションが用意されています。

最高品質

あなたの冒険を5.3Kの高解像度映像で鮮明に記録します。SuperViewデジタルレンズを使えば16:9アスペクト比の臨場感あふれる映像を撮影できます。撮影した映像は、テレビで60フレーム/秒でフルスクリーン再生でき、2倍のスローモーション (1/2の速度) 再生も可能です。

省電力 (初期設定)

ミッドレンジの4K動画を撮影し、バッテリー駆動時間を延ばしながら美しい映像を撮影することができます。SuperView (スーパービュー) デジタルレンズを使用して、アスペクト比16:9の臨場感あふれる映像をテレビでフルスクリーン再生することができます。60フレーム/秒で録画し、2倍速のスローモーション (1/2の速度) で再生することができます。

最長バッテリー

1080pで映像を撮影して最長のバッテリー駆動時間を実現。古いデバイスでビデオを再生するときにも最大限の互換性が保たれます。SuperViewデジタルレンズを使用して、アスペクト比16:9の臨場感あふれる映像を撮影し、テレビでフルスクリーン再生することができます。
60フレーム/秒で録画し、2倍速のスローモーション (1/2の速度) で再生することができます。

詳細については、以下をご参照ください。

- *アスペクト比 (ビデオ)* (74ページ)
- *ビデオの解像度 (RES)* (70ページ)
- *フレーム/秒 (FPS)* (72ページ)

イージーコントロールの使用

注意 : イージーコントロールのビデオモードは、カメラを向けて撮るだけの簡単撮影に最適化されています。設定を変更することはできません。

ビデオモードの変更

GoPro Quikアプリまたはカメラのボタンを使用してビデオモードを切り替えることができます。

GoPro Quikアプリの使用

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、アプリ画面の 省電力 4K | 60 | SV をタップします。
2. ご希望のモードを選択します。

カメラのボタンの使用

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。
2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラの設定に移動します。
3. シャッターボタン を1回押して、ビデオモードに移動します。
4. ステータス / ペアリングボタンを繰り返し押して、ビデオモードを切り替えます。
5. シャッターボタンを押して選択したモードをロックします。
6. シャッターボタンを押して残りのオプションを切り替え、撮影画面を終了します。

詳細については、「*ボタンを使用してビデオモードを切り替える (イージーコントロール)* (64ページ)」をご参照ください。

イージーコントロールとプロコントロールの切り替え

イージーコントロールでは、シャッターボタンを押すだけで、HERO11 Black Mini の多彩なビデオモードのいずれかで撮影が開始されます。プロコントロールでは、追加の撮影モードに加え、カメラのすべてのモード、設定、機能を調整する機能のロックが解除されます。

コントロールの切り替え

GoPro Quik アプリまたはカメラのボタンを使用して、イージーコントロールとプロコントロールを切り替えられます。

GoPro Quikアプリの使用

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、アプリ画面の / をタップします。
2. コントロール設定に移動し、タップしてイージーコントロールとプロコントロールを切り替えます。

GoProテク : アプリのホーム画面の をタップして、イージーコントロールとプロコントロールを素早く切り替えることもできます。

イージーコントロールとプロコントロールの切り替え

カメラのボタンの使用

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。
2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラの設定に移動します (プロコントロールを使用しているときは 2 回押します)。
3. シャッターボタン を繰り返し押して、「コントロール」を表示します。
4. ステータス / ペアリングボタンを押して、イージーコントロールとプロコントロールを切り替えます。
5. シャッターボタンを押して選択内容をロックします。

詳細については、「*ボタンを使用してカメラのユーザー設定を調整する* (68ページ)」をご参照ください。

プロコントロール撮影モード

プロコントロールには7つのビデオ撮影モードがあります。それぞれに独自の専門性があります。カメラのモードをロックしたら、シャッターボタン を押すだけで撮影が開始されます。

*注意：*これらのモードを使用できるのは、プロコントロールを使用しているときだけです。

GoProテク：各ビデオモードはカスタマイズ可能です。解像度、フレームレート、デジタルレンズなどを調整できます。

詳細については、「*プロコントロールの設定* (28ページ)」をご参照ください。

ビデオ (初期設定)
ビデオモードは、16:9のアスペクト比の広角デジタルレンズを使用して、4Kビデオを60フレーム/秒で撮影するようにセットアップされています。

TIMEWARP
TimeWarpでは、設定された間隔でビデオのフレームを記録することで再生速度を速めることができ、ビデオをプレイバック時にファストモーション効果が得られます。TimeWarpは、自動的にビデオのブレを補正するので、移動しながらでも驚くほど滑らかなタイムラプスビデオを撮影することができます。

スタートレイル
カメラを安定した台または三脚に取り付けて、夜空に向けてそのままにします。地球の自転に伴い、星々が夜空に光の軌跡を描きます。軌跡の長さは「最長」、「ロング」、「ショート」から選択することができます。

プロコントロール撮影モード

ライトペインティング

ライトペインティングは、長時間の露出を使用することにより、動く光によるブラシストロークのエフェクトを創り出します。カメラを安定した台または三脚に取り付け、懐中電灯、ライトスティック、その他の光る物を手に持ってクリエイティブな撮影に挑戦しましょう。

ライトトレイル

カメラを安定した台または三脚に取り付け、夜間の車のヘッドライトが作り出す眩い光跡を撮影します。軌跡の長さを「最長」、「ロング」、「ショート」から選択してください。

タイムラプス

タイムラプスは、間隔を開けながらビデオフレームを撮影するモードで、長時間のイベントをシェア可能な短いビデオにしてくれます。取り付けて静止しているカメラからタイムラプスビデオを撮影する場合は、この機能を使用します。夕焼け、街の風景、アートプロジェクトなどの、長時間撮影に最適です。

ナイトラプス

ナイトラプスは、光量の少ない暗い場所でタイムラプスビデオを撮影するために用意されたものです。より多くの光量を取り込むようにシャッター速度を自動調節し、ベストな間隔を選択します。ナイトラプスの使用は、カメラが動くハンドヘルドやマウント撮影にはお勧めしません。

プロコントロール撮影モード

撮影モードの変更

プロコントロールを使用しているときは、GoPro Quikアプリまたはカメラのボタンを使用して撮影設定を切り替えることができます。

GoPro Quikアプリの使用

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、アプリ画面の ビデオ 4K | 60 | W をタップします。
2. ご希望のモードを選択します。

カメラのボタンの使用

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。
2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラのビデオ設定に移動します。
3. シャッターボタン を押して、「モード」に移動します。
4. ステータス / ペアリングボタンを繰り返し押して切り替えます。
5. シャッターボタンを押して選択したモードをロックします。
6. シャッターボタンを押して残りのオプションを切り替え、撮影画面を終了します。

詳細については、「*ボタンを使用してビデオモードを切り替える (プロコントロール)* (65ページ)」をご参照ください。

プロコントロールの設定

カメラのプロコントロールを使用しているときに各モードの撮影設定を調整することができます。カメラのボタンまたはGoPro Quikアプリを使用して、アスペクト比、レンズ、フレームレート、その他の主要な設定を変更できます。他のすべての設定は、Quikアプリでのみ調整できます。

GoProテク：GoPro Quikアプリを使用すると、カメラの設定を素早く簡単に調整できます。

アスペクト比

アスペクト比は、画像の幅と高さを表します。16:9のワイドスクリーン形式、縦長の4:3形式、臨場感あふれる8:7のアスペクト比から選択可能です。

詳細については、「*アスペクト比 (ビデオ)* (74ページ)」をご参照ください。

解像度

解像度は、ビデオのフレーム内の水平ラインの数を指します。ラインが多いほど、ディテールのある写真が撮れます。カメラは5.3K、4K、2.7K、1080pの映像を撮影できます。

詳細については、「*ビデオの解像度 (RES)* (70ページ)」をご参照ください。

レンズ

撮影に最適なデジタルレンズを選択します。SuperView、HyperView、リニア、リニア + 水平維持、広角があります。利用できるレンズは、選択した解像度とフレームレートによって異なります。

詳細については、「*デジタルレンズ (ビデオ)* (75ページ)」をご参照ください。

プロコントロールの設定

フレーム/秒

フレーム/秒 (FPS) とは、ビデオで1秒あたりに撮影されるフレーム数を表します。速い動きやスローモーションショットの撮影には、より高いフレームレートを使用します。使用可能なフレームレートは解像度によって異なります。

詳細については、「*フレーム/秒 (FPS)* (72ページ)」をご参照ください。

速度 (TIMEWARP)

ビデオの速度を設定します。短時間のアクティビティ用の低速 (2倍速または5倍速) か、長時間のアクティビティ用の高速 (10倍速、15倍速、または30倍速) を選択します。速度設定を「自動」 (初期設定) のままにしておくと、動き、シーン検出、光量に基づいてGoProが自動的に速度を調整します。

詳細については、「*タイムワープビデオの速度* (82ページ)」をご参照ください。

軌跡の長さ (スタートレイル、ライトペインティング、ライトトレイル)

スタートレイル映像を撮影するときの光跡の長さを設定します。切れ目のない軌跡を撮影するなら「最長」に設定します。他に「ロング」と「ショート」を選択できます。

シャッター (スタートレイル、ライトペインティング、ライトトレイル、ナイトラプス)

夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。

詳細については、「*シャッター (スタートレイル、ライトペインティング、ライトトレイル、ナイトラプス)* (86ページ)」をご参照ください。

間隔 (タイムラプス)
カメラがビデオの1フレームを取り出す頻度を選択します。短時間のアクティビティでは短い間隔を使用し、長時間のアクティビティでは長い間隔を使用してください。

詳細については、「*間隔 (タイムラプス)* (84ページ)」をご参照ください。

間隔 (ナイトラプス)
低光量や超低光量の場合に、カメラが写真を撮影する頻度を設定します。GoProで間隔が自動的に設定されるようにするには、「間隔」を「自動」 (初期設定) のままにします。動きや光量が多い場合は、短い間隔を選択します。動きや光がほとんどない場合は、長い間隔を使用します。

詳細については、「*間隔 (ナイトラプス)* (87ページ)」をご参照ください。

HYPERSMOOTH (ビデオ)
サイクリング、スキーなどでの手持ち撮影に最適です。HyperSmooth (ハイパースムーズ) ビデオブレ補正機能が、ジンバルを使用しているかのような驚くほど滑らかな映像を実現します。使用可能な設定は、「オフ」、「オン」 (初期設定)、「ブースト」、「AutoBoost」です。

*注意：*HyperSmoothを調整するには、GoPro Quikアプリを使用する必要があります。

詳細については、「*HyperSmoothビデオブレ補正* (81ページ)」をご参照ください。

設定の調整
GoPro Quikアプリまたはカメラのボタンを使用して撮影の設定を調整できます。

GoPro Quikアプリの使用

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、アプリ画面の ビデオ 4K | 60 | W をタップします。
2. 調整したいモードの横にある をタップします。
3. 設定をタップして調整します。

カメラのボタンの使用

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。
2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラのビデオ設定に移動します。
3. シャッターボタン を押して、「モード」に移動します。
4. ステータス / ペアリングボタンを押してオプションを切り替えます。調整したいモードで停止し、シャッターボタンを押してロックします。
5. シャッターボタンを繰り返し押して、そのモードのオプションを切り替えます。調整したい設定で停止します。設定はモデルによって異なります。

プロコントロールの設定

6. ステータス / ペアリングボタンを押して、その設定のオプションを切り替えます。
7. シャッターボタンを押して、対象の設定をロックします。
8. シャッターボタンを押して残りのオプションを切り替え、撮影画面を終了します。

*注意：*工場出荷時の設定に戻すことで、カメラの初期設定に戻すことができます。

詳細については、「*出荷時設定に戻す* (49ページ)」をご参照ください。

ライブストリーミング

ライブストリームの設定

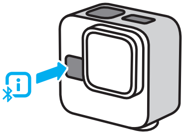
1. GoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「*GoPro Quikアプリへの接続* (12ページ) 」をご参照ください。
2. アプリで をタップして、カメラを制御します。
3. をタップして、指示に従ってストリームを設定します。

詳しい手順については、**gopro.com/live-stream-setup**をご参照ください。

HiLightタグ

HILIGHTタグの追加

お気に入りの場面にマークを付けるには、ステータス / ペアリングボタン を撮影中に押します。HiLight (ハイライト) タグ を追加すれば、コンテンツを確認したり、ビデオを作成したり、特定のショットを探したりする際に簡単に見つけることができます。GoPro QuikアプリでもHiLightタグ機能があり、ハイライトビデオを作成する際に最高のコンテンツを見つけることができます。



GoPro Quikアプリでコンテンツを再生しながら音声コントロールでHiLightタグを追加することもできます。 をタップして、音声コントロールオンにし、「GoPro、ハイライト」と発声します。

注意：追加したHiLightタグは削除できません。

GoProテク：Quikアプリは、ビデオを作成するときにHiLightタグを自動検索します。これにより、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

音声でGoProを操作

音声コントロールを使用すると、GoProをハンズフリーで簡単に操作できます。ハンドルバーやスキーのストックなどで手がふさがっているときに便利です。実行したい操作をGoProに話しかけましょう。

音声コントロールのオン / オフの切り替え

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、アプリ画面の / をタップします。
2. 音声コントロールをタップしてオンとオフを切り替えます。

音声コマンド

音声コマンドに対応する操作のリストを以下に示します。

コマンド	説明
GoPro、撮影	カメラに設定されているモードで撮影を開始します。
GoPro、撮影ストップ	カメラに設定されているモードでの撮影を停止します。
GoPro、ビデオスタート	「GoPro、撮影」の代わりに使用できます。
GoPro、ビデオストップ	「GoPro、撮影ストップ」の代わりに使用できます。
GoPro、ハイライト	撮影中にHiLightタグを追加します。
GoPro、電源オフ	カメラの電源をオフにします。

GoProテク：音声コマンドは、その時点のカメラモードと設定で撮影を開始します。撮影を開始する前に、使用したいモードと設定になっていることを確認してください。

音声でGoProを操作

音声コントロールの言語を変更する

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、アプリ画面の / をタップします。
2. 「音声コントロール言語」をタップします。

*注意：*音声コントロールは、風、ノイズ、カメラとの距離によって影響を受ける場合があります。最高のパフォーマンスを得るために、カメラをきれいに保ち、ごみを拭き取ります。

メディアの再生 + 転送

スマートフォンでの再生

1. GoPro Quikアプリ に接続して「メディアの表示」 をタップし、スマートフォンでメディアを表示します。
   詳細については、「*GoPro Quikアプリへの接続* (12ページ)」をご参照ください。
2. アプリケーションのコントロールを使用して、ビデオを再生、編集、共有します。

GoProテク：GoPro Quikアプリを使用して、ビデオから静止写真を取り込んだり、長時間の撮影から短い共有可能なビデオを作成したり、スマートフォンにメディアを保存したりできます。

コンピューターでの再生

コンピューターのデスクトップでメディアを編集および表示するには、最初にファイルをコンピューターに保存する必要があります。

1. カメラからSDカードを取り外します。
2. カードをSDカードリーダーまたはアダプターに挿入します。
3. カードリーダーをコンピューターのUSBポートに接続するか、アダプターをSDカードスロットに挿入します。
4. ファイルをコンピューターにコピーします。

スマートフォンに有線接続で転送する

有線接続を使用すると、GoProからスマートフォンにビデオをより確実に高速で転送できます。

1. 適切なケーブル / アダプター (別売) を使用して、GoProをスマートフォンに接続します。
2. スマートフォンでGoPro Quikアプリを起動し、画面の指示に従います。

携帯電話	ケーブルまたはアダプターが必要です。
Android	標準的なUSB-C ー USB-C
USB-Cポート搭載のiOSデバイス	標準的なUSB-C ー USB-C
Lightningポート搭載のiOSデバイス	標準的なUSB-A ー USB-CおよびApple Lightning ー USBカメラアダプター

クラウドへの自動アップロード

GoProサブスクリプションを使用すると、メディアをクラウドに自動的にアップロードし、任意のデバイスから表示、編集、共有できます。アップロードしたコンテンツが共有可能なハイライトビデオの作成にも使用されて、あなたのスマートフォンに送信されます。

1. **gopro.com/subscribe**またはGoPro QuikアプリからGoProサブスクリプションに登録します。
2. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「*GoPro Quikアプリへの接続* (12ページ)」をご参照ください。
3. プロンプトが表示されたら「自動アップロード」をタップするか、アプリの画面で をタップします。
4. アプリの画面に表示される手順に従ってください。
5. カメラを電源に接続します。アップロードが自動的に開始されます。

一旦設定すると、自動アップロードを開始するためにカメラをアプリに接続する必要はありません。

*注意：*オリジナルファイルは、クラウドにバックアップされた後でも、カメラに残っています。

クラウドメディアへのアクセス

1. デバイスでGoPro Quikアプリを開きます。
2. をタップし、「クラウド」を選択して、コンテンツの表示、編集、共有を行います。

GoProテク：クラウドメディアを使用して、GoPro Quikアプリでビデオストーリーを作成します。新しいストーリーを作り始めるときは、「クラウドメディア」を選択するだけです。

メディアの再生 + 転送

自動アップロードのオフ

カメラが電源コンセントに接続され、フル充電されてもアップロードを行わないように設定することができます。

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。
2. カメラ選択画面で、 をタップします。
3. 「自動アップロードをオフ」をタップします。

別のワイヤレスネットワークへの接続

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「*GoPro Quikアプリへの接続* (12ページ)」をご参照ください。
2. 接続したら、アプリの「自動アップロードの管理」をタップします。
3. アプリで「Wi-Fiネットワーク」をタップします。
4. Wi-Fiネットワークを選択します。
5. Wi-Fiのパスワードを入力します。
6. 「接続」をタップします。

ビデオストーリーの作成

スマートフォンに映像を自動的に送信するように、GoProを設定できます。GoPro Quikアプリでは、これらの設定を使用して、音楽やエフェクト付きの編集されたビデオストーリーを作成します。

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「*GoPro Quikアプリへの接続* (12ページ)」をご参照ください。
2. アプリのホーム画面で下にスワイプします。直近のセッションからのショットがスマートフォンにコピーされ、編集されたビデオに変換されます。
3. ビデオをタップして表示します。
4. 必要な編集を行います。
5. ストーリーを保存するか、友人や家族、フォロワーと共有することができます。

最高のショットを見つけるには

最高のショットには忘れずにHiLight (ハイライト) タグをつけましょう。GoPro Quikアプリは、ビデオを作成するときにタグを自動検索するので、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

GoProも、カメラに顔を向けたり、笑ったりする動作を検知します。これらのショットのデータに自動でタグ付けされるため、アプリでビデオに適したショットを選び出すことができるのです。

詳細については、「*HiLightタグ* (34ページ)」をご参照ください。

ビデオから写真をキャプチャする

HERO11 Black Miniの5.3Kの映像は、高解像度のビデオが撮影できるだけでなく、GoPro Quikアプリを使用して、ビデオから最大24.7MPの高画質の写真をキャプチャすることも可能とします。

GOPRO QUIKアプリを使用したフレームグラブ

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「*GoPro Quikアプリへの接続* (12ページ)」をご参照ください。
2. 「メディアの表示」 をタップし、スマートフォンでビデオを表示します。アプリ、クラウド、またはスマートフォンのカメラロールに保存されている任意のビデオを選択できます。
3. ビデオをタップして表示します。
4. ビデオの魅力あるショットが表示されたときに をタップしてフレームを写真として保存します。
5. 写真をGoPro Quikアプリに保存するか、スマートフォンのカメラロールに保存するか、共有するかを選択します。

フレームグラブの解像度

フレームグラブ写真の解像度は、ビデオを撮影するために使用する設定によって異なります。以下にいくつか例を示します。

写真の解像度	ビデオの設定
24.7MP	5.3Kビデオ、8:7のアスペクト比 (プロコントロールを使用した設定の変更が必要)
21.16MP	5.3Kビデオ、4:3のアスペクト比 (プロコントロールを使用した設定の変更が必要)
15.8MP	5.3Kビデオ、16:9のアスペクト比 (イージーコントロールを使用するときの初期設定の最高品質のビデオモード)

Quikアプリを使用したユーザー設定

カメラのユーザー設定を調整するには、GoPro Quikアプリに接続した後で、 / をタップします。

セットアップ

数回タップするだけでカメラを思い通りにセットアップしましょう。

コントロール

イージーコントロールとプロコントロールを切り替えます。カメラのボタンを使用してコントロールを切り替えることもできます。

詳細については、
「*イージーコントロールとプロコントロールの切り替え* (23ページ)」をご参照ください。

音声コントロール

音声コントロールをオンまたはオフにします。

音声コントロールの言語

音声コントロールの言語を選択します。

Wi-Fi帯域

接続速度として5GHzまたは2.4GHzを選択します。スマートフォンおよび地域が対応している場合のみ、5GHzを設定します。

電子音

カメラの電子音を大、中 (初期設定)、小、またはミュートに設定します。

LED

ステータスライトをオン (初期設定) またはオフにします。

方向

コンテンツの方向を選択します。「すべて」は、撮影開始時のカメラの方向にロックして撮影します。「横方向」は、カメラの方向にかかわらず常に横向きで撮影します。「ロック」は、前回のカメラ使用時の方向で撮影します。

言語
カメラで使用する言語を選択します。

アンチフリッカー
テレビで録画と再生をする際の地域のフレームレートを選択します。北米や日本の場合は、60Hz (NTSC) に設定します。NTSC方式以外の場合は50Hz (PAL) をお試しください。地域に適した形式を選択すると、屋内で録画されたビデオを再生したときにTV/HDTVでのちらつきを防ぐことができます。

日付と時刻の設定
タップすると、カメラの日付と時刻がアプリと自動的に同期されます。

消去
SDカード内のファイルを管理します。

最後のファイルを消去
カメラで撮影した最後のビデオを消去します。

SDカードからすべてのファイルを消去
SDカードからすべてのファイルを消去します。

Quikアプリを使用したユーザー設定

カメラ情報
カメラのソフトウェアのバージョンを表示したり、紛失した場合に見つけたりします。

バージョン
カメラで現在使用しているソフトウェアのバージョンを表示します。

カメラを見つける
カメラから電子音が鳴ってカメラがある場所を知らせます。

カメラステータス
カメラのバッテリーとSDカードの容量をチェックします。

バッテリーレベル
カメラのバッテリー残量を表示します。

SDカード容量
カメラのSDカードの残りの容量を表示します。

重要なメッセージ

問題が発生することはまれですが、問題が発生した場合は、GoProからユーザーに通知されます。カメラのステータススクリーンに表示されるいくつかのアイコンとそれらの意味について、以下に説明します。

カメラの温度が高すぎます
カメラの温度が高くなり、冷却が必要になると、ステータススクリーンに温度警告アイコンが表示されます。カメラは許容温度範囲を越えるリスクがある状況を認識するように設計されており、必要に応じてシャットダウンされます。この場合は、カメラをそのまま放置し、冷却してから使用してください。

*注意：*HERO11 Black Miniの動作周囲温度範囲は-10°C〜35°Cです。通常の充電温度範囲は0°C〜35°Cです。高温になると、カメラの電力消費量が増えて、バッテリーの消耗が速くなります。

GoPro テク:HERO11 Black Mini はアクション撮影向けの設計になっており、カメラの周囲を流れる空気によって、アクション撮影中にカメラが高温になるのを防ぎます。最大限の性能で長時間撮影できるように、使用中のカメラの周囲に十分な空気の流れがあることを確認してください。また、解像度とフレームレートを下げることでも、GoPro がオーバーヒートするリスクを軽減できます。特に気温が高い環境では、高解像度や高フレームレートでビデオを撮影すると、カメラは短時間で高温になります。

重要なメッセージ

バッテリーの温度が低すぎます
バッテリーの温度が低すぎる (-10°C以下) の場合、カメラがオンにならなかったり、高性能設定で録画できなくなったりすることがあります。

GoProテク：寒い気候のときに最高のパフォーマンスを得るには、寒い場所に出る前にカメラを100%に充電してください。撮影する準備ができるまで、カメラをズボン、胸当て、またはジャケットのポケットに入れておきましょう。

SDカードエラー
GoProはSDカードのさまざまな問題を検出できます。問題の原因としては、静電気放電が考えられますが、放電が原因とは限りません。このような場合は、カメラを再起動してください。破損したファイルは自動的に修復され、完全に機能できるようにカメラは復元されます。

ファイルの復旧
GoProは、破損したファイルを自動的に修復しようとします。録画中にカメラの電源が切れた場合、またはファイルの保存中に問題が発生した場合に、ファイルが破損することがあります。修復中は、ファイル復旧アイコンがタッチスクリーンに表示されます。処理が終了してファイルが修復されると、カメラから通知されます。

メモリカードがいっぱいです
SDカードの空き容量がなくなった場合は、カメラが通知します。録画を継続するには、一部のファイルを移動または消去する必要があります。

重要なメッセージ

バッテリー残量低、電源をオフにします
バッテリーの残量が10%を下回ると、スクリーンにバッテリー残量の低下を示すメッセージが表示されます。ビデオの録画中にバッテリーが切れた場合は、録画が停止しビデオが保存されてから、電源がオフになります。

SDカードの規格
カメラを最適に機能させるには、V30、UHS-3以上のSDカードが必要です。カードの評価がV30/UHS-3以下である場合、またはカードが時間の経過とともに劣化し、規格に準拠した機能を発揮できない場合、カメラの反応によってそれがわかります。

カメラのリセット

GOPROの再起動
カメラが応答していない場合は、ステータス / ペアリングボタンを10秒間長押ししてからボタンを放します。これでカメラが再起動します。設定は変更されません。

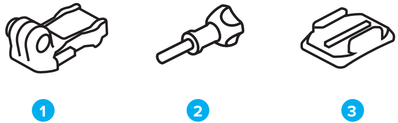
出荷時設定に戻す
「出荷時リセット」は、カメラの元の設定をすべて復元し、すべてのデバイス接続をクリアして、GoProサブスクリプションからカメラの登録を解除します。これは、人にカメラを譲る場合や、オリジナルの状態に完全に戻したい場合に便利です。

1. ステータス / ペアリングボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラの設定に移動します (プロコントロールを使用しているときは2回押します)。
3. シャッターボタンを繰り返し押して、「出荷時リセット」を表示します。
4. ステータス / ペアリングボタンを押して「出荷時リセット」を選択します。
5. ステータス / ペアリングボタンを押して ← から ✓ に移動します (または、← がハイライトされているときにシャッターボタンを押して戻ります)。
6. (✓ がハイライトされているときに) シャッターボタンを押してカメラのリセットを確認します。

注意：出荷時の設定を復元しても、SD カードからコンテンツが削除されたり、カメラのソフトウェアに影響を与えたりすることはありません。ただし、クラウドへの自動アップロードをもう一度セットアップする必要があります。

詳細については、「*ボタンを使用してカメラのユーザー設定を調整する* (68ページ)」をご参照ください。

GoProのマウント方法



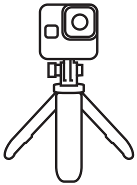
マウンティングハードウエア

1. マウント用バックル
2. サムスクリュー
3. 粘着性ベースマウント (曲面)

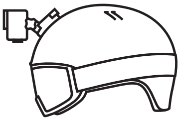
GoProのマウント方法

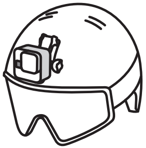
カメラには2セットのマウントフィンガーが付いています。使用するマウントに応じて、マウント用バックルを使用するか、GoProを直接マウント自体に取り付けます。

底面のマウントフィンガー
底面のマウントフィンガーは、グリップや三脚、ギアにGoProを取り付けるために使用します。



背面のマウントフィンガー
背面のマウントフィンガーは、ヘルメットへのマウントなど、目立たないようにマウントしたいときに使用します。

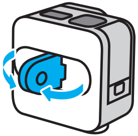




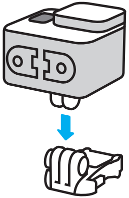
GoProのマウント方法

マウントフィンガーの使用

1. フォールディングフィンガーをマウント位置に押し下げます。



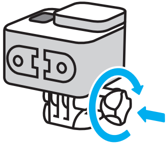
2. カメラのフォールディングフィンガーを、バックルのマウントフィンガーとかみ合わせます。



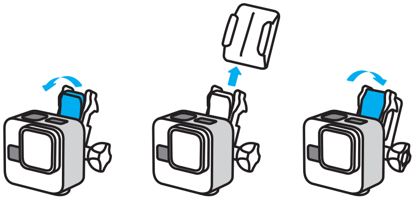
警告：長時間の撮影中はマウントフィンガーが熱くなることがあります。マウントからカメラを取り外したり、マウント位置を調整する場合は注意してください。

GoProのマウント方法

3. サムスクリューを使用して、カメラをマウント用バックルに固定します。



4. マウント用バックルをマウントに取り付けます。
   a. マウント用バックルプラグをはね上げます。
   b. カチッと音がして固定されるまでバックルをマウント側にスライドさせます。
   c. プラグを押し込んでバックルと同じ高さになるようにします。



粘着性ベースマウントの使用に関するヒントについては、「*粘着性ベースマウントの使用* (54 ページ)」をご参照ください。

GoProのマウント方法

粘着性ベースマウントの使用

ヘルメット、車両、およびギアに接着ベースマウントを取り付けるときには、次のガイドラインに従ってください。

- 使用する24時間以上前にマウントを取り付けます。
- マウントは必ず滑らかな面に取り付けてください。凹凸やざらざらした表面には、きちんと貼り付きません。
- マウントを押して、しっかりと取り付けます。接着剤が表面に完全に接触していることを確認します。
- 必ず清潔で乾燥した面で使用してください。ワックスや脂分、汚れ、ほこりなどがあると、結合が弱まり、カメラが落下する可能性があります。
- 湿度が低い、室温の環境でマウントを取り付けます。低温または湿度の高い環境や、低温または湿気のある表面には、適切に貼り付きません。
- 機器 (狩猟用具など) にカメラを取り付けることが許可されているかどうか、州や現地の法令、法律を確認してください。家電やカメラの使用を規定する法律に常に準拠してください。

警告：思いがけない負傷を避けるために、カメラをヘルメットにマウントする際には流れ止めコードを使用しないでください。スキーやスノーボードに直接カメラを取り付けないでください。

マウントの詳細については、**gopro.com**をご参照ください。

GoProのマウント方法

警告：GoProヘルメットマウントまたはストラップを使用する場合は、常に該当する安全規格を満たしているヘルメットを使用してください。

実施するスポーツまたはアクティビティに適したヘルメットを選択し、ヘルメットが使用者に適したサイズでフィットしていることを必ず確認してください。ヘルメットが正常な状態であることを確認し、製造元の安全な使用に関する指示に必ず従ってください。

大きな衝撃を受けたヘルメットは交換してください。すべての事故で負傷から保護できるヘルメットはありません。安全を維持してください。

水中でのGOPROの使用

GoProは、ドアがロックされた状態で水深10mまでの防水性を備えています。飛び込む前に、別途ハウジングを取り付ける必要はありません。

水中ではGoPro Quikアプリを使用してモードや設定を調整することはできませんが、水中でもカメラのボタンを使用してメニューを操作することができます。詳細については、「カメラのボタンでナビゲートする (64ページ)」をご参照ください。

GoProテク：流れ止めコードとFloaty (フローティー) (別売) を使用して、カメラがマウントから外れても浮いているようにしてください。The Handler (フローティングハンドグリップ) もGoProを水に浮かせることができます。

カメラの流れ止めコード、Floaty、およびThe Handler (ザ ハンドラー) の詳細については、**gopro.com**をご参照ください。

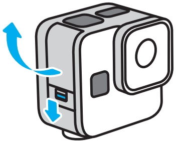
ドアの取り外し

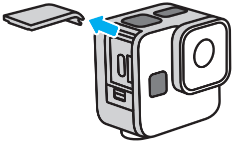
場合によっては、カメラのドアを取り外す必要があります。

注：ドアは乾燥した、ほこりのない環境でのみ取り外します。ドアが開いていたり外されていたりする状態のカメラに防水性能はありません。

ドアの取り外し

1. ラッチのロックを解除し、ドアを開けます。
2. ドアを水平にした状態で、カチッと音がするまで外側にゆっくりと引きます。

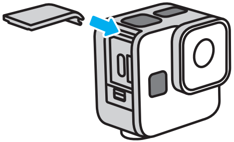




警告：ドアを外した状態でGoProを使用しないでください。これをするとUSBポートやSDカードが見えるようになり、カメラが水のダメージを受けやすくなります。

ドアの取り付け

1. ドアを小さな銀色のバーに合わせます。
2. 所定の位置にはめ込まれ、しっかりと固定されるまで、ドアを小さな銀色のバーにしっかりと押し込みます。



警告：このカメラのドアは着脱式です。ドアを閉じた後、ドアがしっかりとロックされ、密閉されていることを確認してください。ドアが密閉していないと、カメラが水のダメージを受けやすくなります。

メンテナンス

カメラの性能を最大限に引き出すには、次のヒントを参考にしてください。

- GoProはハウジングなしで、水深10mまでの防水性能を備えています。水辺またはホコリや砂の多い環境で使用する場合は、ドアを必ず閉じてください。
- ドアを閉じる前に、シール部分にチリやゴミがついていないことを確認します。必要に応じて、布を使用してシールを洗浄します。
- ドアを開ける前に、GoProがきれいに乾いていることを確認してください。必要であれば、カメラに真水をかけてすすぎ、布で完全に水分を拭き取ります。
- ドアの周囲に砂や泥などがこびりついている場合は、カメラをぬるま湯に15分ほど浸して、その後よくすすいで砂や泥を完全に取り除いてください。ドアを開ける前に、カメラが濡れていないことを確認してください。
- 最高のオーディオ性能を引き出すためには、カメラを振るか、マイクの挿入口に息を吹きかけて、挿入口に入った水や泥を取り除きます。マイクの挿入口から圧縮した空気を吹き込まないでください。内部の防水メンブレンを破損させる可能性があります。
- 塩水が付着した場合は、その都度必ずカメラを水ですすぎ、柔らかい布で拭いてください。
- 取り外し式レンズカバーは、非常に丈夫な強化ガラスで作られていますが、それでも傷やひびができる場合があります。柔らかく、糸くずの出ない布で拭いてください。
- ゴミがレンズとトリムリングの間に詰まっている場合は、水や空気で取り除きます。レンズ周りに異物が入らないようにしてください。

バッテリーの情報

カメラとバッテリーは一体化されています。バッテリーをカメラから取り外すことはできません。バッテリーは修理できません。バッテリーに関する問題については、GoProカスタマーサービスまでお問い合わせください。

バッテリー駆動時間を最大化する

バッテリーの残量が10%を下回ると、カメラステータススクリーンに表示されているバッテリーアイコンが点滅し、バッテリー残量が少ないことを示すメッセージが表示されます。録画中にバッテリー残量が0%になると、ファイルが保存され、電源がオフになります。

次のような方法で、バッテリー駆動時間を最大限に延ばすことができます。

- イージーコントロールの「省電力」または「最長バッテリー」モードを使用します。
- プロコントロールを使用して、低フレームレートおよび低解像度に切り替えます。

電源接続時の撮影

カメラに付属しているUSB-Cケーブルを使用して、カメラをUSB式の充電アダプターや他の外部電源に接続した状態で録画できます。これは、長いビデオやタイムラプスイベントを撮影するのに最適です。

録画中は、SDカードスロットの周辺に触れないように注意してください。SDカードに触れると、録画が中断または停止される可能性があります。この問題が発生した場合は、カメラでメッセージが表示されます。このような不具合が発生した場合でも、コンテンツの破損または消失はありません。ただし、続行するには、カメラを再起動しなければならない場合があります。

注意: カメラを充電している場合でも、録画中にはバッテリーは充電されません。録画を停止すると、充電が開始されます。カメラをコンピューターに接続している場合は、録画できません。

注意: 充電中はドアが開いているため、カメラは防水ではなくなります。

バッテリーの情報

警告：GoPro製以外のACチャージャーまたは電源ケーブルを使用すると、カメラのバッテリーが破損し、火災や液漏れが発生する恐れがあります。GoPro Supercharger以外では、「出力5V 1A」と記された充電器のみを使用してください。充電器の電圧と電流が不明の場合は、付属のUSB-Cケーブルを使用して、カメラをコンピューターに接続して充電してください。

バッテリーの保管と取り扱い

GoProには、バッテリーなどの精密部品が多く含まれています。本機を極端な低温や高温にさらさないでください。極端な温度の環境では、バッテリー駆動時間が一時的に短くなったり、カメラが一時的に正常に作動しなくなったりすることがあります。温度や湿度が急激に変化する環境での使用は、製品の内外に結露が発生する可能性があるため避けてください。

カメラを乾燥させる際に、電子レンジやヘアドライヤーなどの外部熱源を使用しないでください。カメラ内部での水や液体への接触によってカメラやバッテリーが破損した場合は、保証の対象となりませんのでご注意ください。

許可されていない改造をカメラに加えないでください。許可されていない改造を行うと、安全や法令に関するコンプライアンスに抵触したり、あるいはシステムのパフォーマンスを損なう恐れがあるため、保証の対象外となります。

*注意：*低温環境下では、バッテリー容量が低下します。低温状態でバッテリーの駆動時間を最大限に長くするには、カメラを使用前に暖かい場所に置いておきます。

GoProテク：バッテリー駆動時間を最大限に延ばすために、収納する前にカメラをフル充電してください。

バッテリーの情報

警告：カメラまたはバッテリーの投下、分解、開放、破砕、折り曲げ、変形、穿刺、裁断、電子レンジによる加熱、焼却、塗装などを行わないでください。USB-Cポートなど、カメラの開口部に異物を入れないでください。亀裂ができたり、穴が開いていたり、水没したりしたことが原因で破損したカメラは使用しないでください。バッテリーを分解したり、穴を開けたりすると、破裂や火災の原因になることがあります。

バッテリーの廃棄

ほとんどの充電式リチウムイオンバッテリーは、無害廃棄物に分類され、自治体の通常の廃棄物として処理することができます。多くの地域では、バッテリーをリサイクルするよう求められます。お住まいの地域の条例を調べ、通常のゴミと一緒にカメラとバッテリーが廃棄できるかどうかご確認ください。

ただし、リチウムイオンバッテリーにはリサイクル可能な材料が含まれており、リチャージャブルバッテリーリサイクリングコーポレーション (RBRC) のバッテリーリサイクリングプログラムでもリサイクル受け入れ対象となっています。北米のお客様はCall2Recycle (call2recycle.orgにアクセスするか、1-800-BATTERYに電話) に問い合わせ、最寄りのリサイクル場を確認することをお勧めします。

バッテリーは火に投じると爆発する恐れがあるため、火のあるところには絶対に捨てないでください。

GOPROの電源がオンにならない

GoProが充電されていることを確認してください。「*SDカードとバッテリーのセットアップ* (10ページ)」をご参照ください。バッテリーを充電しても解決しない場合は、カメラを再起動してみてください。「*GoProの再起動* (49ページ)」をご参照ください。

ボタンを押してもGOPROが反応しない

「*GoProの再起動* (49ページ)」をご参照ください。

コンピューターでの再生が途切れる

通常、画像の途切れはファイルの問題ではありません。映像がスキップされる場合は、原因として次のいずれかが考えられます。

- コンピューターがHEVCファイルをサポートしていない。**gopro.com/apps**で、Mac用またはWindows用GoProプレーヤー (無料) の最新バージョンをダウンロードしてください。
- お使いのコンピューターが、再生に使用しているソフトウェアの最小要件を満たしていない。

カメラのユーザー名またはパスワードを忘れた

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、⚙ / 🔧 をタップします。
2. 「カメラ情報」まで下にスクロールします。

実行中のソフトウェアのバージョンがわからない

1. GoPro Quikアプリに接続した後で、⚙ / 🔧 をタップします。
2. 「カメラ情報」まで下にスクロールします。

詳細については、「*カメラのソフトウェアバージョン* (16ページ)」をご参照ください。

トラブルシューティング

カメラのシリアルナンバーが見つからない

シリアル番号はカメラのドアの内側に刻印されています。

詳細については、「*カメラのソフトウェアバージョン* (16ページ)」をご参照ください。

その他のご不明点

よくある質問の他の回答については、**gopro.com/help**をご参照ください。

カメラのボタンでナビゲートする

ボタンを使用してビデオモードを切り替える (イージーコントロール)

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。

2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラの設定に移動します。

3. シャッターボタン を押して、ビデオモードに移動します。

4. ステータス / ペアリングボタンを繰り返し押して、ビデオモードを切り替えます：「省電力」 > 「最長バッテリー」 > 「最高品質」

5. シャッターボタンを押して選択したモードをロックします。
6. シャッターボタンを押して残りのオプションを切り替え、撮影画面を終了します。

カメラのボタンでナビゲートする

ボタンを使用してビデオモードを切り替える (プロコントロール)

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。

2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラのビデオ設定に移動します。

3. シャッターボタン を押して「撮影モードに移動します：「ビデオ設定」 > 「モード」。

4. ステータス / ペアリングボタンを繰り返し押して、撮影モードを切り替えます：「ビデオ」 > 「TimeWarp」 > 「スタートレイル」 > 「ライトペインティング」 > 「ライトトレイル」 > 「タイムラプス」 > 「ナイトラプス」。

5. シャッターボタンを押して選択したモードをロックします。
6. シャッターボタンを押して残りのオプションを切り替え、撮影画面を終了します。

カメラのボタンでナビゲートする

プロコントロールでボタンを使用して設定を調整する

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。

   1H:59 ビデオ4K 60 SV

2. ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラのビデオ設定に移動します。

   ビデオの設定

3. シャッターボタン を押して、ビデオ撮影モードに移動します。

   モード ビデオ

4. ステータス / ペアリングボタンを押してオプションを切り替えます。調整したいモードで停止し、シャッターボタンを押してロックします。

   モード ビデオ > モード TIMEWARP > モード スタートレイル > モード ライトペインティング >

   モード ライトトレイル > モード タイムラプス > モード ナイトラプス

カメラのボタンでナビゲートする

5. シャッターボタンを繰り返し押して、そのモードのオプションを切り替えます。調整したい設定で停止します。設定はモードによって異なります。

   モード ビデオ > アスペクト 16:9 > 解像度 5.3K > レンズ 広角 >

   FPS 60

   - ビデオ：「アスペクト」(アスペクト比) > 「RES」(解像度) > 「レンズ」 > 「FPS」
   - TimeWarp：「アスペクト」(アスペクト比) > 「RES」(解像度) > 「レンズ」 > 「速度」
   - スタートレイル、ライトペインティング、ライトトレイル：「アスペクト」(アスペクト比) > 「RES」(解像度) > 「軌跡の長さ」 > 「シャッター」
   - タイムラプス：「アスペクト」(アスペクト比) > 「RES」(解像度) > 「レンズ」 > 「間隔」
   - ナイトラプス ：「アスペクト」(アスペクト比) >「RES」(解像度) >「レンズ」>「シャッター」>「間隔」

6. ステータス / ペアリングボタンを押して、その設定のオプションを切り替えます。

   アスペクト 16:9 > アスペクト 4:3 > アスペクト 8:7

7. シャッターボタンを押して、対象の設定をロックします。

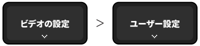
8. シャッターボタンを押して残りのオプションを切り替え、撮影画面を終了します。

カメラのボタンでナビゲートする

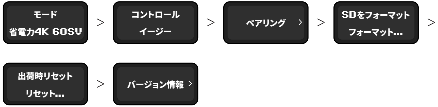
ボタンを使用してカメラのユーザー設定を調整する

1. ステータス / ペアリングボタン を押して、カメラの電源をオンにします。イージーコントロールを使用しているときは、ステータス / ペアリングボタンをもう一度押して、カメラの設定に移動します。

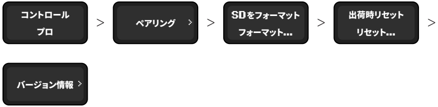
プロコントロールを使用しているときは2回押します：「ビデオ設定」 > 「ユーザー設定」。



2. シャッターボタン を繰り返し押して、ユーザー設定オプションを確認します。調整したい設定で停止します。イージーコントロールの場合：「モード」 > 「コントロール」 > 「ペアリング」 > 「SDをフォーマット」 > 「出荷時リセット」 > 「バージョン情報」



プロコントロールの場合：「コントロール」 > 「ペアリング」 > 「SDをフォーマット」 > 「出荷時リセット」 > 「バージョン情報」



カメラのボタンでナビゲートする

3. ステータス / ペアリングボタンを繰り返し押して、推奨設定オプションを確認します。
4. シャッターボタンを押して、対象の設定をロックします。
5. シャッターボタンを押して残りのオプションを切り替え、撮影画面設定を終了します。

仕様

ビデオの解像度 (RES)
ビデオの解像度は、ビデオの各フレーム内の水平ラインの数を指します。1080pビデオは1,080本の水平線で構成されています。5.3Kビデオは、5,312本の水平線で構成されています。ラインが多いほど解像度が高くなるので、5.3Kは1080p以上の鮮明な画像を提供することができます。

ビデオの解像度	説明
5.3K 16:9	広角でアスペクト比 16:9 の驚異的なウルトラ HD ビデオを撮影する超高解像度ビデオです。15.8MP の静止画をビデオから取得することができます。
5.3K 4:3	アスペクト比4:3より縦長のシーンを撮影する超高解像度ビデオです。POV映像や、ビデオから21MPの静止画を取り込むのに最適です。
5.3K 8:7	横幅・縦幅ともにHEROカメラ史上最大の視野角で撮影する超高解像度ビデオです。ズームインしても映像の豊かな質感と鮮明さが維持され、24.7MPの静止画をビデオから取り込むことができます。
4K 4:3	縦幅が増すアスペクト比 4:3 のウルトラ HD ビデオは、16:9 のショットより広い視野角で撮影することができます。12MP の静止画をビデオから取り込むことができます。
4K 16:9	アスペクト比 16:9 のウルトラ HD ビデオ。三脚や固定位置での撮影に最適です。8MP の静止画をビデオから切り出すことができます。

ビデオの解像度	説明
4K 8:7	縦と横に広いアスペクト比8:7で、ウルトラHDビデオを撮影します。臨場感あふれるPOV映像の撮影に最適で、録画後にデジタルレンズの交換、ショットのクロップ、アスペクト比の調整を行うことができます。12.9MPの静止画をビデオから取り込むことができます。
2.7K 4:3	ボディやギアに搭載された主観的な高解像度のショットを、滑らかなスローモーションで再生するのに最適です。
2.7K 16:9	16:9の高解像度のビデオ。プロ仕様の制作用として迫力ある映画品質の映像を実現します。240fpsや120fpsの高フレームレートオプションにより、編集時にスーパースローモーションを利用できます。
1080p	あらゆるショットやソーシャルメディアサイトでの共有に最適な標準的な HDTV 解像度。240fps や 120fps の高フレームレートオプションにより、編集時にスーパースローモーションを利用できます。

*注意：*選択したアスペクト比と互換性がある解像度のみ使用できます。

仕様

フレーム/秒 (FPS)
フレーム/秒とは、ビデオで1秒あたりに撮影されるフレーム数を表します。速い動きの撮影には、高いFPS値 (60、120、240) が適しています。また、高FPSの映像はスローモーション再生に使用することもできます。

スローモーション + FPS
標準速度のビデオは、通常は30fpsで録画・再生されます。そのため、60fpsで撮影されたビデオは2倍のスローモーション (1/2の速度) で再生できます。さらに、120fpsで録画すれば4倍のスローモーション (1/4の速度) で、240fpsで録画すれば8倍のスローモーション (1/8の速度) で再生できます。

高いfpsで録画されたビデオほど、スローモーションで見るときに動きが滑らかになり、細部までくっきりと映し出されます。

解像度 + FPS
ビデオの解像度は高いほど、より細部までくっきりとした映像を撮影できますが、利用できるfps値は一般的に低くなります。

ビデオ解像度を低くすると、映像は鮮明ではなくなりますが、高いfps値で撮影できます。

*注意：*選択したアスペクト比と互換性がある解像度のみ使用できます。

仕様

高解像度 + フレームレート
屋外の気温が高い環境で高解像度または高fpsのビデオを撮影すると、カメラが高温になり消費電力が増える原因となります。

空気の流れが少ないところでGoPro Quikアプリに接続すると、カメラがさらに高温になり、さらに多くの電力を使用するため録画時間が短くなります。

カメラが高温になるのを防ぐには
カメラは、空気の流れで冷却されるように設計されています。最大限の稼働時間を実現するため、撮影中にカメラの周囲に十分な空気の流れがあることを確認してください。カメラは、温度が高くなりすぎると自動でシャットダウンされます。この場合は、カメラを冷却してから使用してください。

それでもオーバーヒートの問題が解消されない場合は、録画するビデオを短くしてみてください。また、GoPro Quikアプリのように、多くの電力を消費する機能の利用を控えてください。The Remote (別売) は、低消費電力でGoProを制御できます。

シャットダウンして冷却する必要がある場合、カメラから通知されます。詳細については、「*重要なメッセージ* (46ページ)」をご参照ください。

仕様

アスペクト比 (ビデオ)
アスペクト比は、画像の幅と高さを表します。GoProは、3つのアスペクト比でビデオを撮影します。

16:9
HDTVや編集プログラム用の標準的な形式です。ワイドスクリーン形式は、シネマティックで印象的なコンテンツを撮影するのに最適です。

4:3
縦長の4:3形式では、16:9のワイドスクリーン形式よりも多くを画面に収めることができます。セルフィーやPOV映像を撮影するのに適しています。

8:7
非常に臨場感あふれる形式であり、横幅・縦幅ともにHEROカメラ史上最大の視野角で、より広い範囲の情報を画面に表示できます。コンテンツの任意の部分にズームインして焦点を合わせて、高解像度かつあらゆるアスペクト比でハイライトを抽出することができます。GoPro Quikアプリやその他の編集ソフトウェアを使用して、ショットの残りの部分を切り取ることもできます。

*注意:*HDTVで4:3および8:7の映像を再生すると、画面の両側に黒いバーが表示されます。

仕様

デジタルレンズ (ビデオ)
デジタルレンズによって、カメラが捉えるシーンの広さが異なります。レンズの種類は、ショットのズームレベルや魚眼効果にも影響します。

デジタルレンズ	説明
HyperView (12mm)	縦幅と横幅が最も広い視野角で、最高に臨場感あふれる16:9ビデオを実現します。 *注意:*HyperViewは8:7の映像を16:9画面に合わせます。そのため、魚眼効果による最高に臨場感あふれる映像を撮影できます。普通の録画よりもPOVアクションスポーツ撮影に向いています。
SuperView (16mm)	縦長のアスペクト比 4:3 のコンテンツを臨場感あふれる 16:9 ビデオに変換します。
広角 (16〜34mm)	フレーム内にできるだけ広い範囲を収める広い視野角。
リニア + 水平ロック / 水平維持 (19〜33mm)	HyperViewやSuperView、広角での魚眼効果のない広い視野角で撮影します。録画中にカメラを回転させても、滑らかで水平な映像に保ちます。 詳細については、「*水平ロック / 水平維持* (79ページ)」をご参照ください。
リニア (19〜39mm)	SuperView や広角での魚眼効果のない広い視野角。

*注意:*選択したアスペクト比および解像度と互換性があるレンズのみ使用できます。

仕様

ビデオモード設定

以下は、カメラのビデオ解像度、フレームレート (fps)、デジタルレンズ、アスペクト比の概要です。

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz / 50Hz)*	デジタルレンズ	画面解像度	アスペクト比
5.3K	60/50	SuperView、広角、リニア、リニア + 水平維持	5312x2988	16:9
5.3K	30/25 24/24	HyperView、SuperView、広角、リニア、リニア + 水平ロック	5312x2988	16:9
5.3K 4:3	30/25 24/24	広角、リニア、リニア + 水平ロック	5312x3984	4:3
5.3K 8:7	30/25	広角	5312x4648	8:7
4K	120/100	SuperView、広角、リニア、リニア + 水平維持	3840x2160	16:9

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「アンチフリッカー (44ページ)」をご参照ください。

仕様

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz / 50Hz)*	デジタルレンズ	画面解像度	アスペクト比
4K	60/50	HyperView、SuperView、広角、リニア、リニア + 水平ロック	3840x2160	16:9
4K	30/25 24/24	SuperView、広角、リニア、リニア + 水平ロック	3840x2160	16:9
4K 4:3	60/50 30/25 24/24	広角、リニア、リニア + 水平ロック	4000x3000	4:3
4K 8:7	60/50	広角	5312x4648	8:7
2.7K	240/200	広角、リニア、リニア + 水平維持	2704x1520	16:9
2.7K	120/100 60/50	SuperView、広角、リニア、リニア + 水平ロック	2704x1520	16:9
2.7K 4:3	120/100 60/50	広角、リニア、リニア + 水平ロック	2704x2028	4:3

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「アンチフリッカー (44ページ)」をご参照ください。

仕様

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz / 50Hz)*	デジタルレンズ	画面解像度	アスペクト比
1080p	240/200	広角、リニア、 リニア + 水平維持	1920x1080	16:9
1080p	120/100 60/50 30/25 24/24	SuperView、 広角、リニア、 リニア + 水平ロック	1920x1080	16:9

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「アンチフリッカー (44ページ)」をご参照ください。

仕様

リニア + 水平ロック / 水平維持デジタルレンズ
水平がしっかりと維持されることにより、シネマティックなプロ品質のビデオを撮影することができます。録画時は、解像度やフレームレートに応じて水平ロックまたは水平維持のいずれかがオンになります。

GoProテク：水平コントロールとHyperSmoothを併用すれば、究極のビデオブレ補正を実現できます。

水平ロック
リニア + 水平ロックデジタルレンズは、録画中にカメラが360°回転してもロックされ、(水平軸または垂直軸上での) 安定を維持します。アスペクト比16:9および4:3での録画時に、ほとんどのフレームレートと各解像度で使用できます。

水平維持
リニア + 水平維持デジタルレンズは、録画中にカメラを傾けても、滑らかで水平な映像に保ちます。各解像度 (5.3K60、4K120、2.7K240、1080p240) の最高フレームレートで、アスペクト比16:9での録画時に使用できます。

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz/50Hz)*	デジタルレンズ	アスペクト比
5.3K	60/50	リニア + 水平維持	16:9
5.3K	30/25 24/24	リニア + 水平ロック	16:9

*注意：*水平ロック/維持はアスペクト比8:7での録画時は使用できません。

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「アンチフリッカー (44ページ)」をご参照ください。

仕様

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz/50Hz)*	デジタルレンズ	アスペクト比
5.3K 4:3	30/25 24/24	リニア + 水平ロック	4:3
4K	120/100	リニア + 水平維持	16:9
4K	60/50 30/25 24/24	リニア + 水平ロック	16:9
4K 4:3	60/50 30/25 24/24	リニア + 水平ロック	4:3
2.7K	240/200	リニア + 水平維持	16:9
2.7K	120/100 60/50	リニア + 水平ロック	16:9
2.7K 4:3	120/100 60/50	リニア + 水平ロック	4:3
1080p	240/200	リニア + 水平維持	16:9
1080p	120/100 60/50 30/25 24/24	リニア + 水平ロック	16:9

*注意：*水平ロック/維持はアスペクト比8:7での録画時は使用できません。

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「アンチフリッカー (44ページ)」をご参照ください。

仕様

HYPERSMOOTH ビデオブレ補正機能

HyperSmooth カメラのブレを補正することで、驚くほど滑らかな映像を撮影することができます。録画中にビデオをクロップして映像のブレを抑えます。サイクリング、スケート、スキー、手持ち撮影などに最適です。GoProには、次の4つのHyperSmooth設定があります。初期設定は「オン」です。

設定	説明
AutoBoost	最大のビデオブレ補正と可能な限り最も広い視野角を組み合わせたものです。クロップは、映像に求められるブレ補正のレベルに応じて変わります。
ブースト	画像をしっかりとクロップした、最大限のビデオブレ補正。
オン	高レベルのビデオブレ補正を行い、クロップを最小限に留めます。
オフ	ビデオブレ補正またはクロップを行わずに録画します。

HyperSmoothを使用して録画するときに、リニア + 水平ロックおよびリニア + 水平維持デジタルレンズを使用すると、より一層映像を滑らかにすることができます。

*注意：*HyperSmoothの設定を変更するには、GoPro Quikアプリを使用する必要があります。

GoProテク：Maxレンズモジュラー (別売) を使用して、最大2.7K60の優れたビデオブレ補正機能により、GoProの能力を最大限まで引き出しましょう。

仕様

TIMEWARPビデオの速度

タイムワープビデオの速度を最大30倍速にすれば、長時間のアクティビティを共有することができます。初期設定は、速度が自動的に設定される「自動」になっています。

自分で速度を設定することも可能です。この表を使って、ビデオの長さを予測してください。たとえば、2倍速で4分間録画すると、約2分のタイムワープビデオが作成されます。

スピード	録画時間	ビデオの長さ
2x	1分	30秒
5x	1分	10秒
10x	5分	30秒
15x	5分	20秒
30x	5分	10秒

*注意：*録画時間はおおよその時間です。ビデオの長さはショット内に含まれる動きによって異なる場合があります。

スピード	例
2x〜5x	景色のよい道路での運転。
10x	ハイキングや探検。
15x〜30x	ランニングやマウンテンバイク。

GoProテク：最高の結果を得るため、がたがたと揺れる可能性のある映像を撮影する場合は、速度を「自動」設定のままにしてください。

仕様

ビデオの解像度 (TIMEWARP、タイムラプスビデオ)

HERO11 Black Miniは、3種類の解像度とアスペクト比でタイムワープおよびタイムラプスビデオを撮影します。

解像度	アスペクト比
5.3K	16:9
4K	16:9
4K	4:3
1080p	16:9

詳細については、以下をご参照ください。

- *ビデオの解像度 (RES)* (70ページ)
- *アスペクト比 (ビデオ)* (74ページ)

仕様

間隔 (タイムラプス)
間隔は、カメラが写真をタイムラプスモードで撮影する頻度を設定します。

使用可能な間隔は、0.5秒 (初期設定)、1秒、2秒、5秒、10秒、30秒、60秒、および2分、5分、30分、1時間です。

間隔	例
0.5秒〜2秒	サーフィン、自転車、他のスポーツ。
2秒	往来の激しい街かど。
5秒〜10秒	雲や屋外風景の長時間撮影。
10秒〜60秒	アートプロジェクトやその他の長時間を要する活動。
60秒〜1時間	非常に長い時間を要する建設工事またはその他の活動。

仕様

タイムラプスビデオの録画時間
ビデオの長さを決める際はこちらの表をご参照ください。

間隔	録画時間	ビデオの長さ
0.5秒	5分	20秒
1秒	5分	10秒
2秒	10分	10秒
5秒	1時間	20秒
10秒	1時間	10秒
30秒	5時間	20秒
60秒	5時間	10秒
2分	5時間	5秒
5分	10時間	4秒
30分	1週間	10秒
1時間	1週間	5秒

仕様

シャッター (スタートレイル、ライトペインティング、ライトトレイル、ナイトラプス)
シャッター速度によって、夜間撮影モードを使用しているときにカメラのシャッターをどのくらい長く開いたままにするかを決めることができます。暗い環境で露出時間を長くすると、ショットにより多くの光を取り込むことができます。

スタートレイルおよびライトトレイルのシャッター速度は、0.5秒、1秒、2秒、5秒、10秒、および30秒です。ライトペインティングのシャッター速度は、0.5秒、1秒、および2秒です。

ナイトラプスのオプションと使用時のヒント

シャッター速度	例
自動	日の出、日没、夜明け、夕暮れ、薄暮、夜間。
2秒、5秒、10秒、15秒	夜明け、夕暮れ、薄暮、ナイトトラフィック、観覧車、花火、ライトペインティング。
20秒	夜間の空 (光源あり)。
30秒	夜間の星、天の川 (完全な暗闇)。

GoProテク: 夜間の低光量での撮影時にコンテンツのブレが生じないようにするには、カメラを三脚に取り付けるか安定した面に置いてブレや揺れを防ぎます。

仕様

間隔 (ナイトラプス)
GoProがナイトラプスモードでシャッターを切る頻度を選択します。ナイトラプスの間隔は、自動、4秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、60秒、および2分、5分、30分、60分です。

「自動」 (初期設定) を選択すると、シャッター設定の間隔と同期されます。シャッター速度が10秒に設定されていて、間隔が「自動」の場合、カメラは10秒ごとにシャッターを切ります。

間隔	例
自動	すべての露出に最適 (シャッターの設定に従いながら最速でシャッターを切ります)。
4秒～5秒	夕刻の街の風景、街の照明、動きのある場面。
10秒～15秒	明るい月夜の雲の動きなど、ゆったりとシーンが移り変わる薄暗い環境での撮影。
20秒～30秒	最小限の環境光量や街灯の下で見上げる星空のように、極めて低光量または極めて動きの少ないシーンの撮影。

Protune

Protune (プロチューン) は、色、ホワイトバランス、シャッター速度などの詳細設定を手動でコントロールすることにより、カメラが持つ潜在的な創造力をすべて引き出します。プロ仕様の色補正ツール、その他の編集用ソフトウェアと互換性があります。

GoPro Quikアプリに接続してProtune設定を調整します。

1. アプリ画面の [ビデオ 4K | 60 | W] をタップします。
2. 調整したいモードの横にある ✎ をタップします。
3. 設定をタップして調整します。

ある撮影モードでProtune設定を変更した場合、そのモードにのみ適用されます。たとえば、TimeWarpのホワイトバランスを変更しても、タイムラプスのホワイトバランスに影響を与えることはありません。

GoProテク：アプリの「Protuneをリセット」をタップして、すべてのProtune設定を初期設定の状態に復元することができます。

Protune

10-BIT HEVC

10ビットビデオは10億色の表示が可能なため、映像の色深度を強化できます。この設定をオンにすると、ビデオが10ビットHEVC形式で保存されます。

*注意：*この設定を使用する前に、お使いのデバイスが10ビットHEVCコンテンツの再生に対応しているか確認してください。

ビットレート

ビットレートにより、ビデオを1秒間録画するのに使用されるデータ量が決まります。「標準」と「高」のから選択してください。

ビットレート	説明
標準 (初期設定)	ファイルサイズを最小化するには、低いビットレートを使用します。
高	最大120Mbps (5.3Kおよび4Kビデオ) の高ビットレートを使用し、最も高い画質で撮影します。

カラー

カラーによって、ビデオのカラープロファイルを調整できます。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

カラー設定	説明
ナチュラル (初期設定)	実際の色に忠実なカラープロファイルでビデオを撮影します。
ビビッド	色彩豊かなカラープロファイルでビデオを撮影します。
フラット	「フラット」はニュートラルなカラープロファイルで、他の機材で撮影された映像と合わせやすく色補正できるので、ポストプロダクションの幅が広がります。トーンカーブが長いため、「フラット」では影とハイライトのディテールがより捉えられます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスによって、コンテンツの色温度を調整し、冷色と暖色のバランスを最適化できます。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

この設定のオプションは、自動 (初期設定)、2300K、2800K、3200K、4000K、4500K、5000K、5500K、6000K、6500K、ネイティブです。値を小さくすると、暖色が強くなります。

また、「自動」を選択してホワイトバランスをGoProに設定させるか、「ネイティブ」設定を選択して最小限に色補正したファイルを作成し、ポストプロダクション時により正確な調整を行うこともできます。

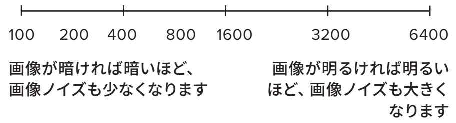
ISO最小 / 最大

ISO最小とISO最大によって、カメラの光とイメージノイズに対する感度の範囲を設定できます。画像ノイズとは、ショットの粒度を意味します。

低光量時は、ISO値が高いほどより明るい映像を得られますが、画像ノイズが高くなります。値が低いほど、画像が暗くなり、イメージノイズが低くなります。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

「ISO最大」の初期設定は1600であり、「ISO最小」の初期設定は100です。

「ISO最大」と「ISO最小」は、録画時に「自動」に設定することもできます。これは特に、光の強度が変動する環境での撮影で役立ちます。



*注意：*ISOの動作は、Protuneのシャッター設定によって異なります。選択した「ISO最大」は、ISOの最大値として使用されます。適用されるISO値は、照明条件に応じて、より低くなることがあります。

GoProテク：特定の値にISOをロックするには、「ISO最小」と「ISO最大」を同じ値に設定します。

シャッター

Protuneのシャッター設定によりシャッターが開いている時間が決まります。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。初期設定は「自動」です。

このオプションは以下のように、fpsの設定によって異なります。

シャッター	例1：1080p30	例2：1080p60
自動	自動	自動
1/fps	1/30秒	1/60秒
1/(2xfps)	1/60秒	1/120秒
1/(4xfps)	1/120秒	1/240秒
1/(8xfps)	1/240秒	1/480秒
1/(16xfps)	1/480秒	1/960秒

GoProテク：シャッター設定使用中のブレを低減するには、カメラを三脚や安定した場所に固定してブレや揺れが生じないようにしてください。

露出値の補正 (EV値)

露出値の補正はビデオの明るさに影響を与えます。この設定を調整することで、コントラストの強い照明状況下での撮影時に画像品質が改善されます。

この設定のオプションは、-2.0〜+2.0です。初期設定は0.0です。

EV値画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。値が高いほど、画像が明るくなります。

*注意：*ビデオでは、この設定は、「シャッター」が「自動」に設定されている場合にのみ利用できます。

GoProテク：EV値は、既存のISO設定内で明るさを調整します。低光量下で明るさがISO設定に達している場合は、EV値の値を上げても効果はありません。明るさを高めるには、より高いISO値を選択します。

シャープネス

シャープネスでは、ビデオ映像で撮影したディテールの質を調整できます。この設定のオプションは、高、中 (初期設定)、および低です。

GoProテク：編集でシャープネスを上げることを想定している場合は、この設定で「低」を選択してください。

RAWオーディオ

この設定では、標準の.mp4オーディオトラックに加え、ビデオの.wavファイルが別途作成されます。RAWオーディオトラックに適用する処理のレベルを選択できます。

RAW設定	説明
オフ (初期設定)	個別の.wavファイルは作成されません。
低	最小限の処理を適用します。ポストプロダクションでオーディオ処理を適用する場合に最適です。
中	ウィンドノイズ低減の設定に基づいて中程度の処理を適用します。独自のゲインを適用する場合に最適です。
高	フルオーディオ処理 (自動ゲインおよびウィンドノイズ低減) を適用します。AAC エンコードなしでオーディオを処理する場合に適しています。

SDカードをカードリーダーに挿入して、コンピューターの.wavファイルにアクセスします。.mp4ファイルと同じ名前で、同じ場所に保存されます。

Protune

ウィンドノイズ低減
HERO11 Black Miniは、3つのマイクを使って、ビデオの録画中に音声を録音します。撮影時の条件や、完成したビデオに使いたいサウンドの種類に基づいて、使用方法をカスタマイズすることができます。

設定	説明
自動 (初期設定)	過度なウィンドノイズを自動的に除去します。
オン	過度なウィンドノイズを除去したり、GoPro を移動中の乗り物に搭載している場合に使用します。
オフ	風の音が音質に影響を与えることがなく、GoPro で確実にステレオ録音したい場合に使用します。

カスタマーサポート

GoProはベストサービスに万全を期しております。GoProカスタマーサポートへのお問い合わせについては、**gopro.com/help**をご参照ください。

登録商標

GoPro、HEROおよびそれぞれのロゴは、米国およびその他諸国におけるGoPro, Inc.の商標または登録商標です。 © 2022 GoPro, Inc. All rights reserved. 特許に関する情報については、**gopro.com/patents**をご参照ください。GoPro, Inc., 3025 Clearview Way, San Mateo CA 94402 | GoPro GmbH, Baierbrunner Str.15 Bldg. D, 81379 Munich, Germany

規制情報

国別の認定書の詳細なリストをご覧いただくには、カメラに付属の「製品および安全に関する重要事項説明書」を参照するか、**gopro.com/help**をご利用ください。